

授業科目 児童福祉論Ⅰ

【担当教員名】 豊田保		対象学年	1	対象学科	社会
		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要及び学習目標】 子ども家庭福祉の基本的考え方、歴史、サービス供給システム、援助の現状、法・制度の体系について理解する。 1 子ども家庭福祉サービスの基本的考え方を理解する 2 子ども家庭福祉の歴史を学習する 3 子ども家庭福祉サービスの供給体制を理解する 4 子ども家庭福祉の現状を学習する 5 子ども家庭福祉の法・制度を理解する					
回数	学習の主題	学習内容			学習方法
1		子ども家庭福祉の課題（1）			講義を基本とする
2		子ども家庭福祉の課題（2）			
3		子ども家庭福祉の視点			
4		子どもの権利及び権利条約			
5		子ども家庭福祉の供給システム（1）			
6		子ども家庭福祉の供給システム（2）			
7		子ども家庭福祉援助の現状			
8		子どもの育成環境			
9		子どもの保育			
10		子どもの養護			
11		子どもの療育			
12		ひとり親家庭			
13		子ども家庭福祉計画			
14		子ども家庭福祉の展望（1）			
15		子ども家庭福祉の展望（2）			
【評価方法】 期末試験またはレポートによって評価する					
【履修上の留意点】 教科書を一度は読了すること					

【使用図書】

教科書・参考書別	書名	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	『家族・児童福祉』	教科書 庄司洋子・松原康雄・山縣文治編	有斐閣	(1998) 2400円+税
参考書	『新しい子ども家庭福祉』	柏女霊峰・山縣文治編著	ミネルヴァ書房	(1998) 2000円+税
	『児童福祉』	福祉士養成講座編集委員会編	中央法規出版	